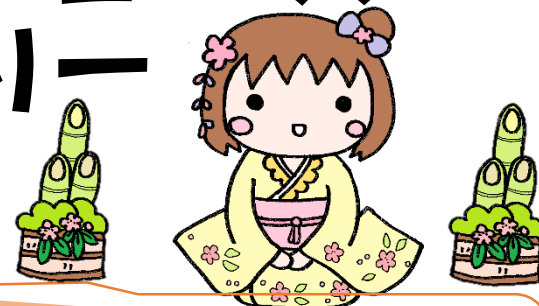


さやま生活支援コーディネーターニュース

発行 狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当 **一福祉でまちづくり**

〒350-1305 狭山市入間川2-4-13 狭山市社会福祉会館内
Tel 04(2954)0294 E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp



こんにちは！生活支援コーディネーターです！！

生活支援コーディネーターは、地域の様々な活動や、資源をつないだり調整を行い、生活支援や介護予防の体制づくりを進めることが役割です。このニュースでは、狭山市で始まっている地域での仕組みづくりを紹介します。

第1層 協議体

第1層協議体とは…住民、自治会、民生・児童委員、NPO、ボランティア、行政、社協など多様なメンバーで、狭山市全域の課題や仕組みづくりについて話し合う場のことです。

第4回の第1層協議体定例会を行いました。（11月15日）



第4回定例会では、第2層協議体の進捗の報告があり、自治会との連携、リスク管理、相談の対応などが課題としてあがりました。市内の第2層協議体の中で情報交換をしたいとの声もあり、連絡会開催を提案しています。

全域的な課題として移動支援についての検討も行いました。

移動や外出の手段がなく、通院や買い物に困っていたり社会参加の機会が少ない方がいる中で、地域で何か移動の支援ができないだろうかという視点で検討をしています。

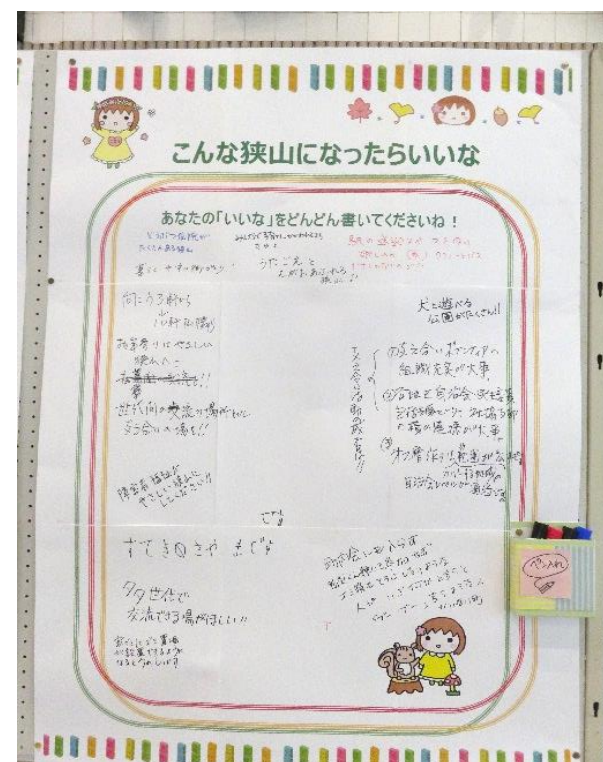
移動支援を地域で進める時の問題としては、事故が起きた時の保険や対応の問題、高齢化で担い手がみつからない、有償のサービスの場合は福祉有償運送の扱い、タクシー業界との関連など様々な課題がありますが、地域の既存の団体を利用する、社会福祉法人等の送迎車両を活用する、国の介護予防・日常生活支援総合事業の位置づけで移動支援をするなどの可能性や、工夫ができるのかを意見交換しています。行政の施策の進捗情報を共有しながら、どのような形で進めることが狭山市の現状に合うのか、実態を出し合いながら、地域で何ができるかを今後も考えていければと思っています。

生活支援体制整備事業のパネル展示を行いました。（12月3日～12月14日）

狭山市役所エントランスホールにてパネル展を行いました。パネル展を見た方からは、「こんな活動があったとは知らなかった」「この地区のたまり場はどこにあるの」「誰でもいけるのか」等の感想や質問がありました。こんな狭山になってほしいという地域の方々の希望や思いが詰まったコメントも沢山いただきました。



折り紙の千羽鶴で作った大輪のユリ。宝荘からの提供です。



3つの「たち」で住民団結！

入曽エリア

今回は、入曽と柏原の2エリアの方々に
お聞きしました！



代表者 宮岡さん

「入曽地区では、昨年から狭山市社会福祉協議会と住民が勉強会と検討会を重ね、子どもからお年寄りまですべての人が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、地域支え合いを目的に
いりそ支え合いたちを立ち上げました。



いりそ支え合いたちは、日常生活の不安や悩みを相談できる場所や人、気づき合える身近な人間関係など、安心して暮らせる地域づくりを目指しています。



愛称の“たち”は、たち（子どもが立ち上がる、成長する）、ハイ・タッチ（みんなで喜びを共有する）、バトン・タッチ（次の世代の子どもたちにつなぐ）の意味を持っています。この言葉を合言葉にして活動を始めています。」

★地域交流の場「サロン・デ・たち」

毎月第3金曜日に入間野神社社務所にて開催しています。利用者としてもボランティアとしても気軽にお越し下さい。お待ちしております。



「たち」のホームページができました！活動の詳しい様子をぜひご覧ください。



- ★困りごとを一緒に解決する「たちサポート」
- ★地域課題解決の勉強会として「おしゃべり・たち」
- ★実際のサービスを提供する「サービス・たち」

ただ今準備中。ごうご期待！

活動者 小川さん

「本会は、介護保険制度の改正に伴い、生活支援体制整備事業の一環として、入曽地区の住民が主体となって立ち上げた組織です。組織の特徴としては、地縁組織である支部社協と入曽地区自治会連合会とが連携し、そこに、地域福祉を目的とした団体や福祉に関心のある個人、さらに、行政も社会福祉協議会も参加することで、今までの地縁組織や任意団体の枠を超えた事業体（組織体）になっていることです。

役割としては、生活支援体制整備事業の第2層協議体であるとともに、高齢者のことから子どもたちのことまで、地域福祉の課題解決に向けた実施組織でもあります。

このことから、当面は、地域サロン「サロン・デ・たち」の運営の中で、地域課題や支援ニーズの把握、生活支援サービスの実施に向けた準備等を進めています。また、地域支え合い組織としてのあるべき姿や機能についても模索しながら組織の充実を図っています。



将来的には、地域福祉の協議調整機能や諸団体・個人の活動のプラットフォームとなることや、組織の経済的自立のためにも、地域運営組織として法人化を視野に入れておく必要があります。今、話題のSDGsの目標の一つは、すべての人に健康と福祉「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」です。いりそ支え合いたちは、全世代型です。“地域から世界を見えています”。」

2層協議体とは…狭山市内を10のエリアに分け、それぞれの地域の特色をいかした地域づくりについて話し合う仕組みです。(10のエリア…入間川・入間川東・富士見・入曽・堀兼・奥富・柏原・水富・新狭山・狭山台)

みんなが集う地域の居場所

柏原エリア

代表の木下さん

Qきのえね坂の家について

「きのえね坂の家は、住民支え合い勉強会から柏原地区にはどんな拠点が必要かを皆で考えてできたもの。地域福祉の推進として地域の課題や情報を収集・発信する場所になる。ただ、最初からそれをするのは難しいので、まずはきのえね坂の家を皆が楽しく元気に過ごせて、その先に張り合いが生まれるような場所にしたい。」

Q活動で大切にしていること

「スタッフにも、参加するときに無理をせずに自分の都合にあわせて活動できるようにしてもらいたい。楽しんで活動してもらおうことが一番。」

活動者 佐久間さん

「輪が広がって、年配の人と色々な話ができる。きのえね坂の家の開催を待っている人がいて、来てくれることがうれしい。楽しみにしている人がいることでやっていて良かったと思う。若いママさん世代も含めて、家に閉じこもらずに、少しずつでも人が来てくれればもっと嬉しい。」



活動者 佐藤さん

「参加していて、いろんな人と話してすごく勉強になる。流しそうめんの世代間交流は、小学生と地域の高齢者とのふれあいの場が提供できたと思う。きのえね坂の家があることで、高齢者がでてるきっかけをつくれていると思う。」



活動者 渡井さん

「手をつなぐ親の会との交流をきのえね坂の家でできたのは大変よかった。他の場所だと制約があったりして、なかなか自由に活動できない。BBQなど、やりたいと思ってもできないことをきのえね坂の家だと行うことができる。今後も継続していきたい。」



参加者 森さん

「年配の人と話ができる。友達が増えると思う。イルミネーションを楽しむ会で、抽選会やビンゴゲームをしたことで、色々な世代の人がきのえね坂の家に来る機会となった。一人で住んでいる人は特に個人で家に行って話すのは難しい。こういう場所があると話しやすい。」

他にも!

参加者の皆さんの声

初回からほとんできています。話をする場ができた。野菜直売が安くて嬉しい。ここできてから楽しい。



今後も大勢の人がきのえね坂の家によってくれるように活動していきます!!

『前回からの進捗状況です！』

福祉でまちづくり 奥富エリア

「じいじとばあば お茶のみサロン 一周年記念事業を開催」

昨年11月にスタートした「じいじとばあばお茶のみサロン」一周年記念事業として奥富小学校の4年生を招いて交流会を開催しました。当日は54名の生徒さんが参加され、世代を超えてお話やけん玉などの昔遊びで大盛り上がりとなりました。生徒さんからは、素敵な合唱の発表もあり笑顔で包まれたあたたかい交流会となりました。



ヒトとヒトとの繋がりづくり 水富エリア

「縁側プロジェクトが発足しました」

誰でも話したり交流ができる居場所として、地域に縁側をつくり、そこに集う人々がお互いに支え合い、役割を持って社会参加できるまちづくりを目標にして、まちの縁側プロジェクト水富が発足しました。さらに水富地区を5グループにわけ、それぞれのグループにPD（プロジェクト・ディレクター）を配置し、小地区で見守りや課題抽出・解決などを行います。

11月には、水富の第1号となる縁側が設置されました。今後、縁側が水富地区でより身近な居場所となるよう活動していきます。



みま～も狭山台 狭山台エリア

「名称が決定しました」

狭山台地区では、地域圏域会議で住民と専門職が毎月1回一緒に集まり、情報共有や事例検討を続けてきましたが、11月27日の定例会で第2層協議体として発足をさせ、名称が「みま～も狭山台」に決まりました！

これからどのような仕組みで狭山台の見守り活動ができるのか話し合いを進めていきます。

おたがいさま♡ふじみ 富士見エリア

「おたがいさま♡ふじみ」は、毎月の全体会議を進めながら、周知と仲間作りを続けています。富士見エリアの全ての方に向けて、広報誌創刊号に続き第2号の発行を準備中です。



お互いに支え合う地域づくり 入間川エリア

「転倒予防の体操が始まりました」

入間川地区で毎月2回、イオン武蔵狭山店とこぶし福祉会で実施している「入間川茶べり場」ですが、特にイオン武蔵狭山店の方では3階にある「イオンフィットネス」様のご協力により、転倒予防の体操が始まりました。年齢層を考え、座ったままでもでき、覚えて帰って自宅で何回もできるような難易度での体操になっています。

参加者も和気あいあいと、しかし真剣に、インストラクターの方を向いて体を動かします。



お問い合わせは 狭山市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターまで



社会福祉法人
狭山市社会福祉協議会

ささえ合い

やさしい心で

まちづくり

Facebookでは狭山市で行われている活動を紹介しています！



Facebook

<http://www.facebook.com/sayama.shakyo/>

〒350-1305

狭山市入間川
狭山市社会福祉会館内

TEL.04(2954)0294 FAX.04(2954)4343

E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp

HP <http://www.sayama-shakyou.or.jp>

